

教育長定例記者会見 会見録

日時：平成29年9月14日 11時30分～

場所：教育委員室

発表項目

- 平成29年度高校生フェスティバルについて

質疑事項

- 発表項目に関する質疑
- 学力の向上について
- 定例記者会見について
- 部活動ガイドラインについて

発表項目

(教育長) それでは本日、ひとつの項目について発表させていただきます。平成29年度高校生フェスティバルについてでございます。これは10月27日(金)から29日(日)まで、三重県総合文化センターにおいて、高校生が日頃の学習や文化活動の成果を発表するフェスティバルでございます。

この3日間で開催されるイベントについては、高等学校産業教育フェア、みえ高文祭、定時制通信制生徒生活体験発表大会、定時制通信制生徒文化作品展、人権まなびの発表会、高校生フォーラム、高校紹介ひろばです。それぞれ回数を重ねてきた歴史あるイベントですが、平成22年度から、今の「高校生フェスティバル」という名称にして、様々な産業教育の特色ある取組、文化活動、人権活動を行ってきた生徒が成果を発表し、一体感を持って取り組めるようにしました。

それぞれのイベントが成功するために、各校で生徒が熱心に準備をしています。記者のみなさまには、生徒がイベントに向けて取り組んでいる一部を紹介させていただきますので、ぜひ学校で取組を取材していただき、フェスティバルが盛り上がるようご協力いただければと思います。

1つ目は、産業教育フェアで行われる、農業高校生が販売するみその製造です。仕込んだみそを真空パックにして実習を行います。このみそは、三重県産のお米と大豆を使用し、材料にこだわった赤みそに近い米こうじのみそです。四日市農芸高校食品科学科では10月5日と16日に実施します。

2つ目は、同じく産業教育フェアで行われる、家庭学科によるファッションショーのためのウォーキングの講習会です。ファッションショーは生徒が自作の衣装を身に付け、それでショーを行います。そのため毎年、各学校で美しく歩くノウハウを学ぶため専門学校から講師を招聘して、ウォーキングの講習会を実施しています。専門学校からは、実際に専門学校のショーモデルとして活躍されている方が講師を務めてくださいます。すでに四

日市農芸高校、それから白子高校の方で実施をいたしました。今回、明野高校生活教養科で9月26日に開催をする予定で進めております。

最後に、高文祭の舞台発表に向けての取組です。松阪高校放送部は、地域と連携した活動を積極的に行っている部活動です。地域のイベントの運営や司会を担当したり、記録動画やCM制作なども行っています。その実力もNHK杯全国高校放送コンテスト三重大会のテレビドラマ部門で最優秀賞を獲得し、全国入選を果たすなど輝かしい実績をあげています。

ご紹介いたしました各校の準備状況への取材の申し込みにつきましては、直接、お問い合わせをいただきたいと思います。

それから最後に、このフェスティバルの開催については、各イベントの代表の生徒が、10月13日（金）に記者会見を行います。高校生が記者会見を行いまして、産業教育フェア生徒実行委員会の代表生徒、みえ高文祭生徒委員会の代表生徒、定時制・通信制の生徒交流フェスティバル推進委員会の代表生徒でございます。

産業教育フェアでは、本年度はこの生徒実行委員会が企画・運営するイベントを29日午前中に実施する予定でございます。詳細については、10月13日の生徒の記者会見で発表させていただきたいと思います。

発表については以上でございます。

発表項目に関する質疑

（質）この総合学科っていうのは昔の普通科とかも入っているんですか。

（答）そうですね。普通科が、学級数の再編とかいろいろあって、総合学科に編成された学校もございます。

（質）ということは、実業学科とか実業校だけの生徒のものではなくて、要は全部、オール高校の生徒たちが参加してということですか。

（答）そうです。一斉に、一堂に会してみたいな形になります。

（質）取材の申し込みはこれだけの高校ですけど、全体としていくつの学校とか、いくつの学科がという数を教えてください。

（答）参加校の学校数ですけども、農業関係が5校、工業8校など、看護とか総合学科7校とか特別支援学校まで、延べ40校の参加になります。

（質）延べ40校。かぶってるってということですか。

（答）そうですね。学科で数えると40校ということですよ。

（質）40の学科ということですね。

（答）はい。

その他の項目に関する質疑

○学力の向上について

(質) 昨日の総合教育会議で、今回の全国学力・学習状況調査の結果を受けて、学力向上について、教育委員の方から意見を聞かれたと思うんですが、知事も全国学力・学習状況調査の結果の報告のあとに、要は算数なら算数で、この課題、分野、項目で点数が悪かったんで、そこへこの1年なりかけて取り組んできたけれども、逆に言ったら、そこから成績が上がってなかった。それがすごいショックというか問題で、そののところをもっと取り組むようにということを言われていて、昨日もそのようなことを話しているじゃないですか。

あと、現場へもう少し入りこんで、単に通達的に出すんじゃないくて、実際そこにどのくらいの指導がやれているかというところをつぶさに、質の向上というか、現場に入ってやった方が良いというふうな意見が委員の中から出てるじゃないですか。具体的にどういう形でやっていくんですか。

(答) 現在の予定では、学校ごとに本当に課題が出てきていると思うので、その課題について市町の教育委員会と連携しながら、学校へ訪問をさせていただいて、そしてそこどこがどういうふうにできていなかったのか、「やってきた、やってきた」と言ってもやっぱりできていなかったこともあると思いますので、それを一つひとつ解説しながら足りなかったことについて、じゃあこうしようというようなことを学校の方に言いに行く予定にしています。

(質) それは全校回るってということですか。それとも成績が平均より達していなかったところについて特に重点的にやるんですか。

(答) まだ、ちょっと基準等はつぶさに決めてはいないんですけども、重点的にはなると思います。

(質) 以前、教育事務所を野呂さんの時代につぶして、今の知事になって2年ぐらい前、尾鷲かなんかで復活させたが、そのの事務所中心でやっていくということですか。

(答) 教育支援事務所が担当しているところはもちろん教育支援事務所ですし、そうじゃないところについては本庁も含めて動こうというふうに思っています。

(質) 主にやる部署は県教育委員会の何課か。

(答) 学力向上推進プロジェクトチームです。

(質) いつぐらいからやるんですか。

(答) もう9月の下旬から入ろうというふうに思っております。

(質) ひとつ空中戦やっていいですか。

(答) はい。

(質) 小中の全国学力・学習状況調査の結果というのは、義務教育の部分というのは、全国平均を下回っているけど、前の山口教育長が言ってましたけど、高校に関しては全国学力・学習状況調査みたいなのをやったときに、そんなに全国で平均より悪くない。だいたい6番目か7番目ぐらい。つまり義務教育でかさ上げできなかった部分は高校教育の部分ではかなり生徒たちもがんばっているし、かさ上げされて全国平均よりそんなに劣っている訳ではないと。この差っていうのがあるから、逆に言ったら、小中であんまり力を入れなくてもいいんじゃないかという話もあるじゃないですか。そのあたりはどう考えられますか。

(答) まあそれもひとつの考え方だと思いますけど、小学校のある学年で、例えばつまずいたらその学年の上がとかなってくるので、やはり、小学校、中学校の積み上げの中から高校に入って、高校の学力もというふうに私は考えています。

(質) ただ一方で、昨日、知事は必ずしも発達段階があるので、今はだめでももう少し学年が上になってから伸びるということもあるんじゃないかみたいなことを、建前かも知れないけれども言われてますね。そういうこともあるじゃないですか。確かに積み重ねは科目によって違うとは思いますが、そのあたりはどうですか。

(答) やっぱり個人差というのはあると思っています。自分もそうでしたが、小さい頃非常に成績が悪くて、本当に悪かったんですけど、自由に自分で学び、探求するみたいなことが自然の中で身についたのか、ある意味年齢が来て成績も上がったという自分の経験もあり、いつの時に何をしなければいけないというのはないかもわかりませんが、教育に携わるものとしては、基礎的なところについてはきちんと小学校、中学校を積み上げて高校にというのが私の考えです。

○定例記者会見について

(質) 今回初めてのこういう形の記者会見ということで、改めて教育長の方から会見を始める狙いとか、そういったことをお願いします。

(答) これまでも、教育委員会の定例会の後で、共同取材という形で、どういう話があったとかお答えしておりました。知事も言うておられるようですが、やはり、教育に関係する内容というのが、結構、報道にもたくさん載りますし、個別に聞かれることも多いものですから、決してそのマイナーな内容だけではなく、今日もプラスですけど、小学校、中学校、それから高校も全て頑張っているの、そういうことについて、積極的に前向きに発表させていただく機会があるのは非常にうれしく思っているところです。受けてお答えする対症的でなくて、前向きにできることが非常にうれしく思っています。それが私の思いです。

(質) 関連してですが、今回、準備段階、事務方の方もいらっしゃいますけれども、これまでと変わったとか、そういった部分はあるんでしょうか。

(答) 今回、こういった積極的な高校生フェスティバルをやりますというような、今までは、ほんとに聞かれたことに対して答えるといったスタンスしかなかったものですから、前向きにネタを拾うといった準備は新たに加われました。それを、私の口述も含めてどう

いったふうに言うか、それから、それについての私へのレクでどうしようといった、そういった準備は増えました。

(質) 県教育委員会の発表というのは、広聴広報課からも発表もするし、この場でも発表するということですか。

(答) それぞれ単独の高校、それから小学校も中学校も、いろんな活動、地域との連携した活動とかされておられますので、学校単独のものについては、それぞれの学校が発表します。全体的にこういう大きなものでありますとか、あるいは、本当に一時期において同じような内容で各学校がやっているものについては、調整のうえですけど、私の方から発表することがあるかもしれません。

(質) いつも共同取材で話題になったのが、懲戒処分を発表が定例会で決定された後で、そのあとの共同取材の中では、なかなか教育長から、お言葉を頂けないということがよくありましたが、今後も、今回は無いですけど、懲戒処分などがあった場合はこの場で教育長からそのコメントを頂けるんですか。

(答) そのことについては、今、広報の担当とも調整をしております。といいますのは、手続き的に、教育委員会のなかで処分をこうしようと思ったなら、そのあと、例えば本人を呼んでとか、いつ誰に報告するというだけでなく、本当に手続き的に何をしなければならない、そのうえでということがありますので、そのところをどうするかとか、もう少し時間を頂きたいと思っています。

(質) それって、今までも本人を呼んでとか、そういう手続きをふんでいたということですか。

(答) していました。今回、他社さんからもご意見をいただいておりますが、定例会があってそこで決まって、それを受けて、本人を呼んで言い渡したりということがあって、もう一つは、非常に細かい内容のところまでということで、それで担当課の方で対応させていただいていましたので、そこについてはもうちょっと調整が必要と今の段階では思っています。

(質) そのあたりは記者クラブとすり合わせるということですね。

(答) そうさせていただきたいと思います。

(質) これから毎回、この教育委員会定例会が終わるたびに、どういったことが決まったといった説明は、どういった形で進めていかれるおつもりですか。

(答) 今日、資料があると思いますが、今日の項目については発表させていただいておりますし、この定例会見の中で、ご質問を受ける形でお答えをさせていただくというふうに整理をしておりますし、そのように調整をさせていただきました。

(質) これまで、教育長は議題等とか委員の意見についても、逐一、前段で説明していましたが、それについてはどうされる予定ですか。

(答) 実際に、聞かれる内容、それぞれの議題についての詳細については、各課の担当にお聞きいただいて、ご質問いただいて、そこでお答えするという形にしておりまして、私

自身が、今日は何がありましたのでこれについてはということは、記者会見とは別物と整理させていただいていますので、それについてはやりません。

(質) 例えば、この場で、今日の議題について委員からどのような声があがりましたとかというのは聞いても、それは問題ないですか。

(答) はい。一応、記者会見という形にさせていただきましたので、別物という整理はさせていただいていますが、ご質問があれば、それはお答えをさせていただきます。実際、定例会自体も公開しておりますので、それもございます。

(質) 非公開のことも、答えられる範囲でお答えいただいていたけれど。

(答) 非公開の部分でも、項目だけしか申し上げられないものとか、項目から類推して何かというものがあれば、それはお答えさせていただきます。

(質) 記者会見は基本的に月2回？

(答) 教育委員会の定例会のあった日にやるという前提で、変わらないです。

○部活動ガイドラインについて

(質) 序盤で出ていたかもしれませんが、部活動ガイドラインのことなんですけれども、このガイドラインを策定する意義についてコメントを頂きたいのですが。

(答) 部活動そのものは、教育活動の一環で、チームでやったりとか、連帯感を育んだりするうえで非常にいい活動ですが、一方で、過度にそこに時間を取られると、教員もですし、子どもたちも、子どもの成長にとってどうかなというのがあるのは事実ですので、ガイドラインということですので、徹底して何かを求めることではないですけど、目安みたいなところについて、休養日はこういうことになるのかなということ、県の教育委員会としてお示しするというものについては、正しいことかなと思っています。

(以上) 11時53分 終了